

令和 7 年度 岡山県脳卒中連携体制検討会議

日 時：令和 7 年 1 0 月 7 日（火）

1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 0 0

W e b 開催 (Z o o m)

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 会長・副会長選出

4 報告事項

（ 1 ） 脳卒中の医療連携体制を担う医療機関等における令和 6 年度実績の集計について

（ 2 ） 岡山大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

5 その他

- ・ 脳卒中月間における広報について

6 閉 会

【資料】

- 1 脳卒中の医療連携体制を担う医療機関令和 6 年度実績の集計
- 2 岡山大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

令和7年度 岡山県脳卒中連携体制検討会議 出席者名簿

(委 員)

所 属 ・ 職 名	氏 名
倉敷市消防局 警防課長	石原 一孝
川崎医科大学総合医療センター脳卒中科副部長	井上 剛
岡山県医師会 常任理事	榊原 敬
岡山県病院協会 副会長	佐能 量雄
川崎医科大学総合医療センター リハビリテーション科 医長	杉山 岳史
医療法人幸義会 岡山東部脳神経外科病院 理事長	滝澤 貴昭
岡山県看護協会 常務理事	武田 利恵
岡山大学学術研究院医歯薬学域 脳神経外科学 教授	田中 將太
倉敷中央病院 脳神経外科・脳卒中科主任部長	沈 正樹
岡山市立市民病院 脳神経外科 副院長	徳永 浩司
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 脳神経内科医長	奈良井 恒
岡山県保健所長会	則安 俊昭
川崎医科大学附属病院 脳卒中科 部長	八木田 佳樹

(敬称略・五十音順)

(事務局)

岡山県保健医療部疾病感染症対策課 課長	原 誠
〃 総括主幹	高橋 友香里
〃 技師	田中 紗季

岡山県脳卒中連携体制検討会議設置要綱

(目的)

第1条 岡山県保健医療計画に基づき、脳卒中の医療に係る連携体制の構築に向け、急性期・回復期・維持期における継続的な治療や、病態に応じたリハビリテーションなど、患者が安心できる生活を支援するために必要な個別の諸課題について検討するため、医療関係者等からなる岡山県脳卒中連携体制検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会議は、脳卒中の医療に係る次の事項について協議し、及び検討する。

- (1) 地域連携クリティカルパスの推進
- (2) 連携の推進状況を把握するための指標（目標とする指標を含む。）
- (3) その他脳卒中の医療における医療連携体制の構築に関すること

(組織)

第3条 検討会議は、委員15名以内で組織する。

2 委員は、医療関係者、消防関係者等のうちから知事が委嘱する。

(会長及び副会長)

第4条 検討会議に、会長1名及び副会長1名を置き、委員の中から互選する。

2 会長は、検討会議を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年以内とする。ただし再任は妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 検討会議の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(意見の聴取)

第7条 検討会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明を受け、又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 検討会議の庶務は、岡山県保健医療部疾病感染症対策課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月9日から施行する。

附 則

1 この要綱は、平成25年10月10日から施行する。

2 第5条の規定にかかわらず、この要綱の施行後、就任した委員の最初の任期は、平成27年3月31日までとする。

附 則

この要綱は、平成27年10月22日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

岡山県脳卒中連携体制検討会議 委員名簿

R7. 4. 1～R9. 3. 31

氏 名	所 属 ・ 職 名	選定理由
石 原 一 孝	倉敷市消防局 警防課長	救急搬送体制連絡協議会推薦
井 上 剛	川崎医科大学総合医療センター 脳卒中科副部長	県南東部主要病院
小 林 和 樹	津山中央病院 副院長兼脳卒中センター長	県北部主要病院
榊 原 敬	岡山県医師会 常任理事	岡山県医師会推薦
佐 能 量 雄	岡山県病院協会 副会長	岡山県病院協会推薦
杉 山 岳 史	川崎医科大学総合医療センター リハビリテーション科 医長	県南東部主要病院
滝 澤 貴 昭	医療法人幸義会 岡山東部脳神経外科病院 理事長	主要病院
武 田 利 恵	岡山県看護協会 常務理事	岡山県看護協会推薦
田 中 將 太	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 脳神経外科学 教授	県南東部主要病院
沈 正 樹	倉敷中央病院 脳神経外科・脳卒中科主任部長	県南西部主要病院
徳 永 浩 司	岡山市立市民病院 脳神経外科 副院長	主要病院
奈良井 恒	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 脳神経内科医長	県南東部主要病院
則 安 俊 昭	岡山県保健所長会	岡山県保健所長会推薦
八 木 田 佳 樹	川崎医科大学附属病院 脳卒中科 部長	県南西部主要病院

(敬称略・五十音順)

**脳卒中の医療連携体制を担う医療機関
令和6年度実績の集計**

令和7年10月

岡山県保健医療部 疾病感染症対策課

< 目 次 >

I	急性期の機能を担う医療機関の状況	… P. 1～ 4
II	回復期の機能を担う医療機関の状況	… P. 5
III	維持期の機能を担う医療機関の状況	… P. 6～ 7
IV	急性期、回復期、維持期を担う医療機関から転棟・転院した患者の状況	… P. 8～ 9
V	急性期、回復期、維持期を担う医療機関における入退院連携状況	… P. 10～11
VI	回復期及び維持期の機能を担う医療機関におけるリハビリテーションの状況	… P. 12
VII	急性期、回復期、維持期を担う医療機関における自由記載欄	… P. 12
VIII	調査様式及び記入要領	… P. 13～24
	【付属資料 1】各調査項目の関係性（概念図）	… 別添
	【付属資料 2】急性期医療機関別実績表	… 別添

【調査内容】

令和 6 年度（R6. 4. 1～R7. 3. 31）における医療機関ごとの治療等実績

【対象及び回収状況】

調査票の様式	担っている医療機能	対象機関数及び内訳	回収
別紙1	急性期	29 急性期Aの医療機能を有する:15 急性期Bの医療機能を有する: 4 急性期Cの医療機能を有する:10	29
別紙2	回復期	50	50
別紙3	維持期・生活期	97 維持期(療養病床を有する施設)の医療機能を有する:41 維持期(在宅医療)の医療機能を有する:21 維持期(療養病床を有する施設)及び維持期(在宅医療)の医療機能を有する:35	93

（備考） 別紙3の対象は、維持期の機能を担っているすべての医療機関等であり、この中には急性期、回復期の機能も担っている医療機関が26機関ある。

I 急性期の機能を担う医療機関の状況

1 急性期の機能を担う医療機関における新規脳卒中入院患者数

(人)

担っている 医療機能	脳梗塞	一過性脳 虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
急性期(A・B・C) ^(a)	3,933	211	1,084	315	5,543
他の急性期医療 機関からの紹介	387	6	147	66	606
上記以外の入院患者	3,546	205	937	249	4,937
急性期(A)	3,471	188	981	288	4,928
他の急性期医療 機関からの紹介	273	4	97	52	426
上記以外の入院患者	3,198	184	884	236	4,502
急性期(B)	224	12	26	11	273
他の急性期医療 機関からの紹介	32	2	6	1	41
上記以外の入院患者	192	10	20	10	232
急性期(C)	238	11	77	16	342
他の急性期医療 機関からの紹介	82	0	44	13	139
上記以外の入院患者	156	11	33	3	203

【参考】急性期の機能を担う医療機関における新規入院患者数の推移

(人)

	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
平成20年度	4,170	486	1,171	462	6,289
平成21年度	3,872	444	1,228	414	5,958
平成22年度	4,342	354	1,308	462	6,466
平成23年度	3,770	380	1,142	390	5,682
平成24年度	3,628	348	1,097	427	5,500
平成25年度	3,728	428	1,126	424	5,706
平成26年度	3,711	404	1,276	458	5,849
平成27年度	3,773	392	1,242	418	5,825
平成28年度	3,851	376	1,189	382	5,798
平成29年度	3,841	386	1,145	342	5,714
平成30年度	4,039	324	1,123	370	5,856
令和元年度	3,940	341	1,087	337	5,705
令和2年度	3,801	245	1,006	303	5,355
令和3年度	3,642	221	1,053	272	5,188
令和4年度	3,584	198	1,105	364	5,251
令和5年度	3,592	266	1,112	349	5,319
令和6年度	3,933	211	1,084	315	5,543

※令和3年度以前の新規入院患者数は、他の急性期医療機関からの紹介分を含まない

2 新規入院患者の来院経緯

(1) 救急車により搬送されてきた新規入院患者数 ※1

(人, %)

搬送先	新規入院患者数(再掲) (a)	うち救急車による搬送 (b)	(b)／(a)
急性期(A・B・C)	5,543	3,161	57.0%
急性期(A)	4,928	3,016	61.2%
急性期(B)	273	77	28.2%
急性期(C)	342	68	19.9%

(2) 新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1

(人)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外	計
県南東部	2,660	90	13	7	39	37	2,846
県南西部	105	1,736	82	8	0	31	1,962
高梁・新見	6	2	55	0	0	0	63
真庭	0	0	7	101	18	2	128
津山・英田	4	0	3	41	452	14	514
計	2,775	1,828	160	157	509	84	5,513

(3) 老年人口割における新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1.2

(%)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	計
県南東部	1.03%	0.05%	0.06%	0.04%	0.07%	0.51%
県南西部	0.04%	0.87%	0.37%	0.05%	0.00%	0.35%
高梁・新見	0.00%	0.00%	0.25%	0.00%	0.00%	0.01%
真庭	0.00%	0.00%	0.03%	0.60%	0.03%	0.02%
津山・英田	0.00%	0.00%	0.01%	0.24%	0.78%	0.09%
計	1.08%	0.92%	0.71%	0.94%	0.88%	1.00%

※1 (1)、(2)、(3)ともに医療機関において把握している人数のみ計上している

※2 人口割合として、岡山県毎月流動人口(2024年10月1日現在)の老年人口(65歳以上)を使用している。

3 専門的治療件数

① t-PA静注療法

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	158	185	164	154	169	239	207	264	271	318	302	345	287	275	263	267	235

② 脳内血腫除去術(脳卒中によるもの)

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	(339)	(320)	(270)	(248)	(201)	(194)	(221)	(260)	(298)	234	196	182	180	173	144	156	165

③ 脳動脈瘤クリッピング術

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	446	361	389	319	305	335	299	247	253	206	190	200	165	121	118	117	102

④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	(138)	(167)	(222)	(273)	(353)	(347)	(401)	(371)	(346)	280	271	284	293	306	312	284	288

⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	57	85	57	34	22	19	38	57	2	32	10	12	10	7	0	1	2

⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	(H29から調査)									20	25	36	25	35	40	20	41

⑦ 経皮的脳血栓回収術

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	(H28から調査)									119	159	204	283	229	213	268	278

⑧ 頸動脈内膜剥離術

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	132	136	116	130	110	112	70	83	97	90	66	65	49	66	47	43	49

⑨ 頸動脈ステント留置術

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	(H29から調査)									100	100	99	86	88	58	73	96

⑩ 脳動脈バイパス術

(件)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	(H29から調査)									36	40	36	25	33	15	26	20

※②及び④については、H29から定義を大幅に変更したため、H28までを括弧書きによる参考値とする・括弧書きによる参考値とする

【参考】脳梗塞の新規入院患者(紹介入院を除く※¹)のうち、t-PA療法を実施した割合

	脳梗塞患者数※ ² (人) A	t-PA療法 治療件数(件) B	割合 (%) B/A
平成28年度	4,167	271	6.5%
平成29年度	4,133	318	7.7%
平成30年度	4,039	302	7.5%
令和元年度	3,940	345	8.8%
令和2年度	3,801	287	7.6%
令和3年度	3,642	275	7.6%
令和4年度	3,584	263	7.3%
令和5年度	3,592	267	7.4%
令和6年度	3,933	235	6.0%

※¹ 令和3年度以前の新規入院患者数は、他の急性期医療機関からの紹介分を含まない。

※² 平成28・29年度は、急性期と回復期両方の機能を担う医療機関に対して、1つの様式で調査を実施しており、急性期を担う医療機関と、急性期及び回復期両方を担う医療機関の新規入院患者数の合計を使用している。

平成30年度からは、急性期と回復期両方の機能を担う医療機関に対し、それぞれの機能別で調査を実施しており、急性期の新規入院患者数を使用している。

【参考】再発による入院患者数

(人, %)

急性期	脳梗塞	一過性脳 虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
新規入院患者数(再掲) (a)	3,933	211	1,084	315	5,543
うち再発による入院 ※ ³ (b)	330	15	48	6	399
(b) / (a)	8.4%	7.1%	4.4%	1.9%	7.2%

※³ 医療機関において把握している人数のみ計上している。

Ⅱ 回復期の機能を担う医療機関の状況

1 回復期の機能を担う医療機関における脳卒中入院患者数

(人)

担っている 医療機能	脳梗塞	一過性脳 虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
回復期	1,619	67	570	159	2,415
急性期病院からの 新規入院患者数 (X)	1,011	19	419	109	1,558
(X)以外の医療機関 からの紹介	608	48	151	50	857

2 新規入院患者の来院経緯

(1) 新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1

(人)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外	計
県南東部	924	41	9	4	9	18	1,005
県南西部	119	940	38	7	1	14	1,119
高梁・新見	0	0	18	0	0	0	18
真庭	0	0	0	30	2	0	32
津山・英田	1	1	0	17	219	3	241
計	1,044	982	65	58	231	35	2,415

※1 医療機関において把握している人数のみ計上している

Ⅲ 維持期の機能を担う医療機関の状況

1 維持期の機能を担う医療機関等における脳卒中患者の状況

(人)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通所リハ 利用者数	その他	合計
総患者数	12,684	656	2,391	807	8	16,546
うちR6 新規患者	1,791	147	834	177	0	2,949

【参考】医療機関所在圏域別の患者数

(人)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通所リハ 利用者数	その他	合計
総患者数 (再掲)	12,684	656	2,391	807	8	16,546
県南東部	5,044	165	461	269	0	5,939
県南西部	4,224	320	1,282	419	0	6,245
高梁・新見	1,470	19	155	78	0	1,722
真庭	317	1	136	0	0	454
津山・英田	1,629	151	357	41	8	2,186

【参考】医療機関所在圏域別の患者割合

(%)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通所リハ 利用者数	その他	合計
総患者数	76.7%	4.0%	14.5%	4.9%	0.0%	100.0%
県南東部	84.9%	2.8%	7.8%	4.5%	0.0%	100.0%
県南西部	67.6%	5.1%	20.5%	6.7%	0.0%	100.0%
高梁・新見	85.4%	1.1%	9.0%	4.5%	0.0%	100.0%
真庭	69.8%	0.2%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%
津山・英田	74.5%	6.9%	16.3%	1.9%	0.4%	100.0%

【参考】総患者数の推移

(人)

	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通所リハ 利用者数	その他	合計
平成22年度	15,825	674	5,323	1,344	35	23,201
平成23年度	16,916	708	5,603	1,278	16	24,521
平成24年度	13,746	845	5,654	1,595	5	21,845
平成25年度	13,247	1,029	5,362	1,598	23	21,259
平成26年度	15,431	704	5,651	1,558	17	23,361
平成27年度	15,622	817	5,755	1,510	38	23,742
平成28年度	14,389	925	5,139	1,973	10	22,436
平成29年度	14,315	625	3,637	1,406	16	19,999
平成30年度	12,182	602	3,397	1,707	12	17,900
令和元年度	11,177	705	3,531	1,215	85	16,713
令和2年度	9,489	665	2,383	992	76	13,605
令和3年度	11,197	770	2,858	1,218	28	16,071
令和4年度	11,195	638	2,706	1,042	21	15,602
令和5年度	9,635	648	2,732	907	17	13,939
令和6年度	12,684	656	2,391	807	8	16,546

2 急性期又は回復期の機能を担う医療機関から維持期への紹介の状況

(1) 患者数

(人)

区分	急性期病院から	回復期病院から	合計
紹介を受けた 新規患者数	1,132	268	1,400
自院内の転棟	542	45	587
他院からの転院	590	223	813

(2) 医療機関数

(機関数)

区分	急性期病院から	回復期病院から
紹介を受けた 医療機関数	70	59
自院内の転棟	12	12
他院からの転院	58	47

IV 急性期、回復期、維持期を担う医療機関から転棟・転院した患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数 ※

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	在宅等生活の場に 復帰した患者数	在宅等復帰率
急性期	5,543	2,572	46.4%
急性期(A)	4,928	2,204	44.7%
急性期(B)	273	171	62.6%
急性期(C)	342	197	57.6%
回復期	2,415	1,616	66.9%

※ 在宅等とは、在宅、グループホーム、有料老人ホームなど、医師が配置されていない生活の場のこと。

(2) 介護保険を利用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む) 維持期は総患者数	介護保険を利用した施設 へ転院した患者数	介護保険を使用した施設 への転院率
回復期	2,415	474	19.6%
維持期	16,546	316	1.9%

(3) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数(紹介含む) (再掲) 維持期は総患者数	急性期A病院へ 転棟・転院した患者数	割合
急性期	5,543	52	0.9%
急性期(A)	4,928	30	0.6%
急性期(B)	273	6	2.2%
急性期(C)	342	16	4.7%
回復期	2,415	48	2.0%
維持期	16,546	29	0.2%

(4)脳卒中再発により急性期A病院以外の医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数(紹介含む) (再掲) 維持期は総患者数	急性期A病院以外の 医療機関へ転棟・転院した 患者数	急性期A病院以外への 転棟・転院率
急性期	5,543	33	0.6%
急性期(A)	4,928	28	0.6%
急性期(B)	273	0	0.0%
急性期(C)	342	5	1.5%
回復期	2,415	75	3.1%
維持期	16,546	24	0.1%

(5)回復期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	回復期の医療機関へ 転棟・転院した患者数	割合
急性期	5,543	1,788	32.3%
急性期(A)	4,928	1,692	34.3%
急性期(B)	273	56	20.5%
急性期(C)	342	40	11.7%

(6)維持期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	維持期の医療機関へ 転棟・転院した患者数	割合
急性期	5,543	386	7.0%
急性期(A)	4,928	343	7.0%
急性期(B)	273	20	7.3%
急性期(C)	342	23	6.7%
回復期	2,415	242	10.0%

V 急性期、回復期、維持期を担う医療機関における入退院連携状況

(1) 退院時に入退院支援加算を算定している医療機関数

(機関数, %)

担っている 医療機能	医療機関数 (a)	入退院支援加算算定 医療機関数 (b)	左記の割合 (b) / (a)
急性期	29	25	86.2%
回復期	50	38	76.0%
急性期＋回復期	79	63	79.7%

(2) 退院時の入退院支援加算の算定件数

(件数, %)

担っている 医療機能	入退院支援加算 算定件数 (c)	(c)のうち 地域連携診療計画加算 算定件数 (d)	左記の割合 (d) / (c)
急性期	4,904	1,558	31.8%
回復期	3,342	799	23.9%
急性期＋回復期	8,246	2,357	28.6%

(3) 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況

(機関, 件数, %)

担っている 医療機能	医療機関数 (a)	パス導入 機関数 (b)	左記の割合 (b) / (a)	パス利用件数(件)		
					(内訳)	
					自院発行	他院発行
急性期	29	21	72.4%	1,994	1,926	68
回復期	50	37	74.0%	1,149		
急性期＋回復期	79	58	73.4%	3,143	1,926	68

【参考】急性期又は回復期の機能を担う医療機関における地域連携クリティカルパスの推移

	医療機関数 (a)	パス導入 機関数 (b)	左記の割合 (b)／(a)	パス作成件数(件)※		
					(内訳)	
					自院作成	他院作成
平成20年度	54	26	48.1%	1,264	882	382
平成21年度	57	43	75.4%	2,676	1,828	848
平成22年度	62	52	83.9%	3,032	2,099	933
平成23年度	63	52	82.5%	3,355	2,182	1,173
平成24年度	63	52	82.5%	3,417	2,155	1,262
平成25年度	65	55	84.6%	3,335	2,254	1,081
平成26年度	65	57	87.7%	3,487	2,361	1,126
平成27年度	65	58	89.2%	3,493	2,350	1,143
平成28年度	63	57	90.5%	3,209	2,123	1,086
平成29年度	64	57	89.1%	3,849	2,696	1,153
平成30年度	80	56	70.0%	3,895	2,434	149
令和元年度	78	57	73.1%	3,833	2,482	174
令和2年度	79	55	69.6%	4,187	2,732	113
令和3年度	79	60	75.9%	3,157	2,026	105
令和4年度	79	56	70.9%	2,981	1,798	57
令和5年度	81	56	69.1%	3,237	2,229	20
令和6年度	79	58	73.4%	3,143	1,926	68

※H30年度以降のパス作成件数の自院・他院発行については、急性期医療機関のみの調査としている。

VI 回復期及び維持期の機能を担う医療機関におけるリハビリテーションの状況

(1) 回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

(機関数, %)

担っている機能		入院料 届出施設基準(b)					
		1	2	3	4	5	届出なし
回復期	医療機関数 ^(a) 50	15	1	3	0	0	30
	割合 (b)／(a)	30.0%	2.0%	6.0%	0.0%	0.0%	60.0%

(2) 脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

(人)

区分	脳血管疾患等リハビリテーション料 算定人数	
	入院患者	外来患者
回復期	5,324	
維持期	2,184	472

VII 急性期、回復期、維持期を担う医療機関における自由記載欄

・血栓溶解療法を含め急性期に南部の高度急性期病院へ送るのはそうすべきと考えますが、それが終わって回復期に転院となった時に、必ずしも新見地区に帰ってこない症例が多いと思います。同じ県南の回復期病院へ回されて、ほぼすることが無くなって(後は施設を待つとか)から、新見に紹介となる事例が多いです。回復期リハビリ病棟ではなくても当院などはPT・OT・ST全部揃っているの、患者サイドの希望にもよるでしょうが、南部で患者を回さずに、新見地区に返してほしいと思います。症例が増えないことには、回復期リハビリをやりたくてもできません。

・医療連携がスムーズに行われるように可能な限り体制を整えてまいります。

脳卒中医療連携評価シート(急性期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院が担う <u>全ての</u> 医療機能に○を御記入ください。			
		急性期 (A ・ B ・ C)	
		回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外)	
		維持期・生活期 (介護保険サービス 有・無)	

1-1. 令和6年度(R6/4/1~R7/3/31)に、貴院へ入院した急性期の脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者数	それ(左記)以外の入院患者数【a】	【a】のうち再発による入院患者数
脳梗塞	人	人	人
一過性脳虚血発作	人	人	人
脳内出血	人	人	人
くも膜下出血	人	人	人
【ア】 合計		人	

合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西栗倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

1-2. 合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数

人

2. 令和6年度(R6/4/1~R7/3/31)に、貴院から転・退院した急性期の脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数	人
(2) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数 ※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む	人
(3) 脳卒中再発により(2)以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数 ※症候性てんかんを含む	人
(4) 回復期を担う医療機関(自院を含む)へ転棟・転院した患者数	人
(5) 維持期・生活期を担う医療機関(自院を含む)へ転棟・転院した患者数	人

3. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)の専門的治療等実施状況

区分	実施件数
① t-PA静注療法	件
② 脳内血腫除去術（脳卒中によるもの）	件
③ 脳動脈瘤クリッピング術	件
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	件
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	件
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	件
⑦ 経皮的脳血栓回収術	件
⑧ 頸動脈内膜剥離術	件
⑨ 頸動脈ステント留置術	件
⑩ 脳動脈バイパス術	件

4. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)の脳卒中患者における入退院連携状況

(1) 退院時にA246 入退院支援加算の算定件数	件
上記(1)のうち	
(2)-① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している ・ 実施していない
(2)-② 貴院が発行したクリティカルパス数	件
(2)-③ 他院が発行したクリティカルパスの利用件数	件
(3) 上記(1)の内、A246 地域連携診療計画加算の算定件数	件

5. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

--

調査は以上です。御協力ありがとうございました！

脳卒中医療連携評価シート(回復期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院が担う<u>全ての</u>医療機能に○を御記入ください。 急性期 (A ・ B ・ C) 回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外) 維持期・生活期 (介護保険サービス 有 ・ 無)			

1. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)に、貴院へ入院した回復期の脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	急性期病院からの紹介による入院患者数	それ(左記)以外の入院患者数【a】
脳梗塞	人	人
一過性脳虚血発作	人	人
脳内出血	人	人
くも膜下出血	人	人
【ア】 合計		人

合計【ア】のうち 居住圏域ごとの 患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

2. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)に、貴院から転・退院した回復期の脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数	人
(2) 介護保険を使用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数	人
(3) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数 ※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む	人
(4) 脳卒中再発により(3)以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数 ※症候性てんかんを含む	人
(5) 維持期・生活期を担う医療機関(自院を含む)へ転棟・転院した患者数	人

病院名	
-----	--

3. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)の脳卒中患者における入退院連携状況

(1) 退院時にA246 入退院支援加算の算定件数	件
上記(1)のうち	
(2)-① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している ・ 実施していない
(2)-② クリティカルパスの利用件数	件
(3) 上記(1)の内、A246 地域連携診療計画加算の算定件数	件

4. 回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

A308 回復期リハビリテーション病棟入院料 中国四国厚生局へ届け出ている施設基準 【入院料1～5の該当数字に「○」印をつけてください。】	1	2	3
	4	5	
	届出なし		

5. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)の脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

H001 脳血管疾患等リハビリテーション料を算定した患者数	人
-------------------------------	---

6. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

--

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

脳卒中医療連携評価シート(維持期・生活期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院・貴施設が担う<u>全ての</u>医療機能に○を御記入ください。 急性期 (A ・ B ・ C) 回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外) 維持期・生活期(介護保険サービス 有 ・ 無)			

1. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)の、貴院・貴施設における脳卒中患者の状況

脳卒中患者数(実人数)	R7/3/31現在の 総患者数	左記のうち、 R6/4/1～R7/3/31に 新たに患者となった数
① 通院患者	人	人
② 往診患者(訪問看護、訪問リハ含む)	人	人
③ 入院または入所患者	人	人
④ 通所リハビリテーション利用者(①～③を除く)	人	人
⑤ その他(①～④を除く)	人	人

2. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)の新規患者のうち、紹介によるもの

紹介元	自院・自施設からの紹介(転棟)	他院からの紹介
① 急性期を担う医療機関からの紹介	人	人
② 回復期を担う医療機関からの紹介	人	人

3. 令和6年度(R6/4/1～R7/3/31)に、貴院・貴施設から転・退院(在宅の場合、入院)した脳卒中患者の状況

(1) 介護保険を使用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数	人
(2) 脳卒中再発により、急性期A病院へ転棟・転院した患者数 ※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む	人
(3) 脳卒中再発により、(2)以外の医療機関へ転棟・転院した患者数 ※症候性てんかんを含む	人

病院名	
-----	--

4. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）の脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

リハビリテーション実施人数(実人数)	入院患者	外来患者
H001 脳血管疾患等リハビリテーション料算定人数	人	人

5. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

様式 1 脳卒中医療連携評価シート（急性期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1-1. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）に、貴院へ入院した急性期の脳卒中患者の状況

- 令和6年度中の新規入院患者について、「自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者数」と「それ（左記）以外の入院患者数【a】」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。
 - ※ 「それ（左記）以外の入院患者数【a】」は、急性期病院以外（回復期・維持期・生活期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。他の急性期病院に紹介した患者は除いてください（急性期病院の新規入院患者数の重複を防ぐため）。
- 「【a】のうち再発による入院患者数」には、脳卒中の再発による入院患者数を記載してください。「再発」の定義は定められていませんので、各医療機関において「再発」と判断できる患者数を計上してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。（前回発症時に、他院で治療を行っている場合も含みます。）
- 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住地が把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

1-2. 合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数

- 上記設問で回答した合計【ア】のうち、救急車で搬送されてきた入院患者数を記載してください。
- 把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。

2. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）に、貴院から転・退院した急性期の脳卒中患者の状況

（1）在宅等生活の場に復帰した患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

（2）脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数

以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院
・ 岡山中央病院	

（3）脳卒中再発により（2）以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数

上記<急性期A>以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

（4）回復期を担う医療機関（自院を含む）へ転棟・転院した患者数

「回復期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。

参考に、岡山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

(5) 維持期・生活期を担う医療機関（自院を含む）へ転棟・転院した患者数

「維持期・生活期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。

参考に、岡山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

3. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）の専門的治療等実施状況

- ・ 下表の区分に従い、実際に行った治療等の件数を記載してください。
- ・ 待機的手術を含みます。
- ・ 1回の手術で複数の治療を行った場合は、それぞれを1件としてカウントしてください。
- ・ 担当医師に確認していただく等の方法により、診療報酬を算定していないものについても、可能な限り実施件数に含めてください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① t-PA 静注療法	脳梗塞と診断された患者に対し、発症後 4.5 時間以内に組織プラスミノゲン活性化因子を投与した件数（A205-2 超急性期脳卒中加算を算定していない場合も件数に含める）
② 脳内血腫除去術 （脳卒中によるもの）	K164 頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの） K164-4 定位的脳内血腫除去術 K164-5 内視鏡下脳内血腫除去術
③ 脳動脈瘤クリッピング術	K176 脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭して行うもの） K177 脳動脈瘤頸部クリッピング
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	K178 脳血管内手術
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	K178-3 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	K178-2 経皮的脳血管形成術 K178-5 経皮的脳血管ステント留置術（頭蓋内）
⑦ 経皮的脳血栓回収術	K178-4 経皮的脳血栓回収術
⑧ 頸動脈内膜剥離術	K609 動脈血栓内膜摘出術 2内頸動脈
⑨ 頸動脈ステント留置術	K609-2 経皮的頸動脈ステント留置術
⑩ 脳動脈バイパス術	頭蓋外-頭蓋内血管吻合 （STA-MCA 吻合術およびハイフローバイパス）

4. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）の脳卒中患者の入退院連携状況

(1) 退院時に A246 入退院支援加算を算定した件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

(2) 「地域連携クリティカルパス」実施状況について記載してください。

「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。また、地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。

(3) 上記（1）の内、地域医療診療計画加算の算定件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

様式2 脳卒中医療連携評価シート（回復期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）に、貴院へ入院した回復期の脳卒中患者の状況

- ・ 令和6年度中の新規入院患者について、「急性期病院からの紹介による入院患者数」と「それ（左記）以外の入院患者数【a】」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。
 - ※ 「それ（左記）以外の入院患者数【a】」は、急性期病院以外（回復期、維持期・生活期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。
- ・ 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住地が把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

2. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）に、貴院から転・退院した回復期の脳卒中患者の状況

（1）在宅等生活の場に復帰した患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

（2）介護保険を使用した施設（老健・特養・介護医療院）へ転院した患者数

把握できている患者のみで結構です。

（3）脳卒中再発により 急性期A病院へ転棟・転院した患者数

以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院
・ 岡山中央病院	

（4）脳卒中再発により（3）以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数

上記<急性期A>以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

(5) 維持期・生活期を担う医療機関（自院を含む）へ転棟・転院した患者数

「維持期・生活期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。

参考に、岡山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

3. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）の脳卒中患者の入退院連携状況

(1) 退院時に A246 入退院支援加算を算定した件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

(2) 「地域連携クリティカルパス」実施状況について記載してください。

「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。

岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。

また、A246 地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。

(3) 上記(1)の内、A246 地域医療診療計画加算の算定件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

4. 回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

- ・ A308 回復期リハビリテーション病棟入院料について中国四国厚生局へ届出ている施設基準により、該当する数字等に「○」印をご記入ください。（基本的には1～5のいずれかに当てはまると考えられます。）

届出ている場合・・・・・・・・入院料「1～5」の該当する数字

届出していない場合・・・・・・・・「届出なし」

5. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）のリハビリテーション実施状況

- ・ H001 脳血管疾患等リハビリテーション料を算定した患者数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。

様式3 脳卒中医療連携評価シート（維持期・生活期を担う医療機関用）

＜回答にあたっての留意事項＞

1. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）の、貴院・貴施設における脳卒中患者の状況

- ・ 「脳梗塞」「脳内出血」「くも膜下出血」「一過性脳虚血発作」の患者数の合計を記載してください。
- ・ 「R7/3/31 現在の総患者数」には、令和6年度以前から貴院・貴施設で治療中（R7/3/31 時点で継続中）の患者を含み、令和6年度の途中で治療を終了（または転院）した患者を除きます。
- ・ 脳卒中予防（または再発防止）のために貴院で投薬を行っている場合も、回答に含めてください。ただし、脳卒中の既往歴がある患者でも、経過観察のみで特段の処置等を行っていない場合は除いてください。
- ・ ④通所リハビリテーション利用者については、①通院患者、②往診患者（訪問看護、訪問リハ含む）、③入院または入所患者を除いた人数を記載してください。⑤その他については、①～④を除いた人数を記載してください。

2. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）の新規患者のうち、紹介によるもの

- ・ 急性期と回復期の両方を担う医療機関から紹介があった患者で、どちらの機能（病床）からの紹介が分からない場合は、「①急性期を担う医療機関からの紹介」に含めてください。

3. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）に、貴院・貴施設から転・退院（在宅患者の場合、入院）した脳卒中患者の状況

- （1）介護保険を使用した施設（老健・特養・介護医療院）へ転院した患者数
把握できている患者のみで結構です。

- （2）脳卒中再発により、急性期A病院へ転棟・転院した患者数
以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院
・ 岡山中央病院	

- （3）脳卒中の再発により、（2）以外の医療機関へ転棟・転院した患者数
上記＜急性期A＞以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

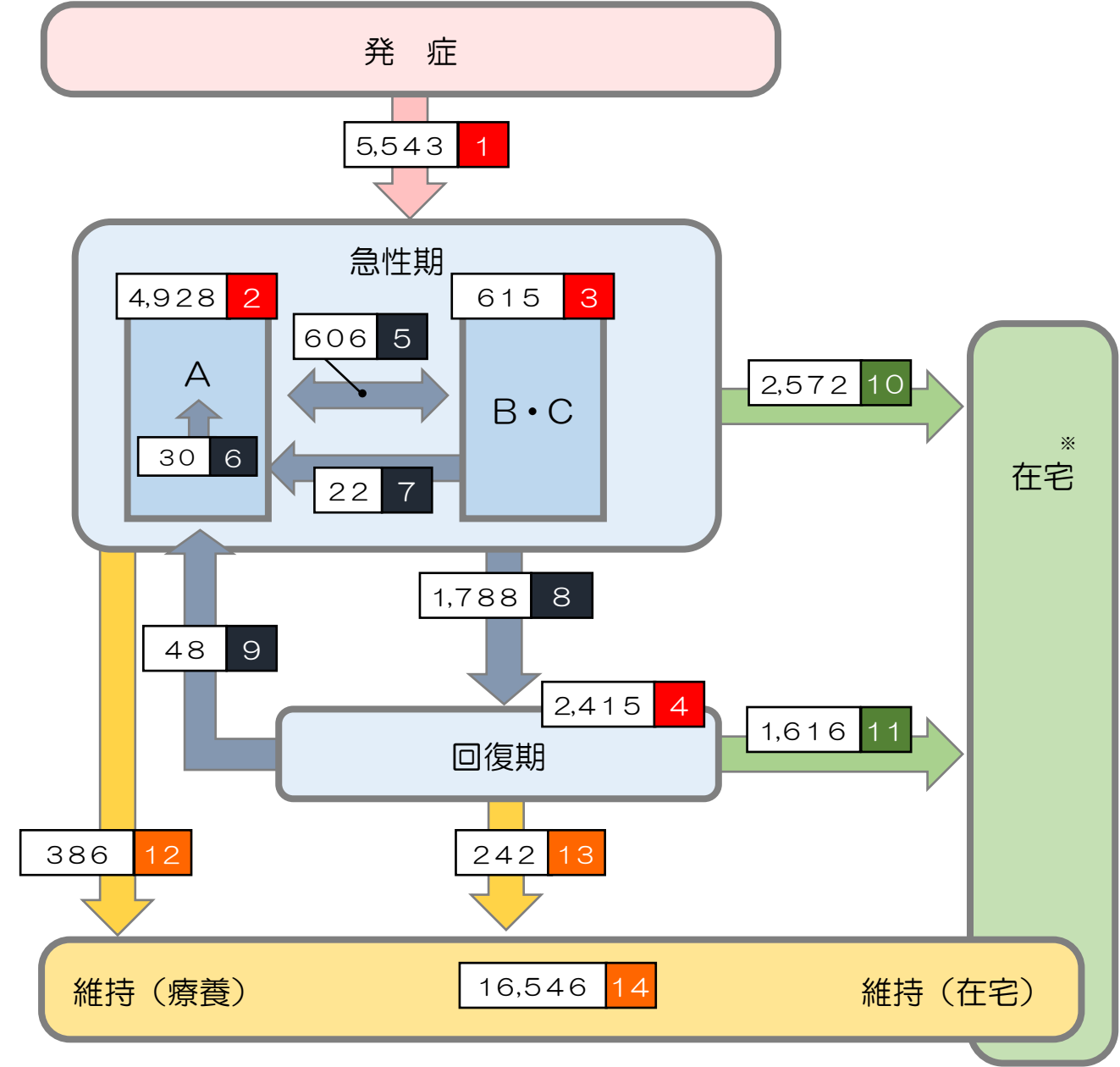
4. 令和6年度（R6/4/1～R7/3/31）のリハビリテーション実施状況

- ・ H001 脳血管疾患等リハビリテーション料及び H004 摂食機能療法を、上記期間中に算定している実患者数（人）を記載してください。入院患者、外来患者別に記載してください。
- ・ 1人の患者に複数回算定している場合も、「1（件）」とカウントしてください。
- ・ 同一患者が入院と外来において、それぞれ算定している場合は、令和6年度末現在（R7/3/31）の患者の状態で算定している方を「1（人）」とカウントしてください。

各調査項目の関係性(概念図)

付属資料 1

(単位：人)



※ 自宅のほか、グループホーム等の医師が配置されていない生活の場を含む

1	急性期の新規入院患者 (P1_上表)	8	急性期から回復期への紹介 (P9_(5)表)
2	[1]のうち急性期Aへの新規入院患者 (P1_上表)	9	回復期から急性期Aへの紹介 (P8_(3)表)
3	[1]のうち急性期B・Cへの新規入院患者 (P1_上表)	10	急性期から在宅等生活の場への復帰 (P8_(1)表)
4	回復期の新規入院患者、紹介込み (P5_上表)	11	回復期から在宅等生活の場への復帰 (P8_(1)表)
5	急性期から他の急性期への紹介 (P1_上表)	12	急性期から維持期への紹介 (P9_(6)表)
6	入院後、急性期AからAへの紹介 (P8_(3)表)	13	回復期から維持期への紹介 (P9_(6)表)
7	入院後、急性期B・CからAへの紹介 (P8_(3)表)	14	維持期の総患者数 (P6_上表)

令和6年度 急性期医療機関別実績表

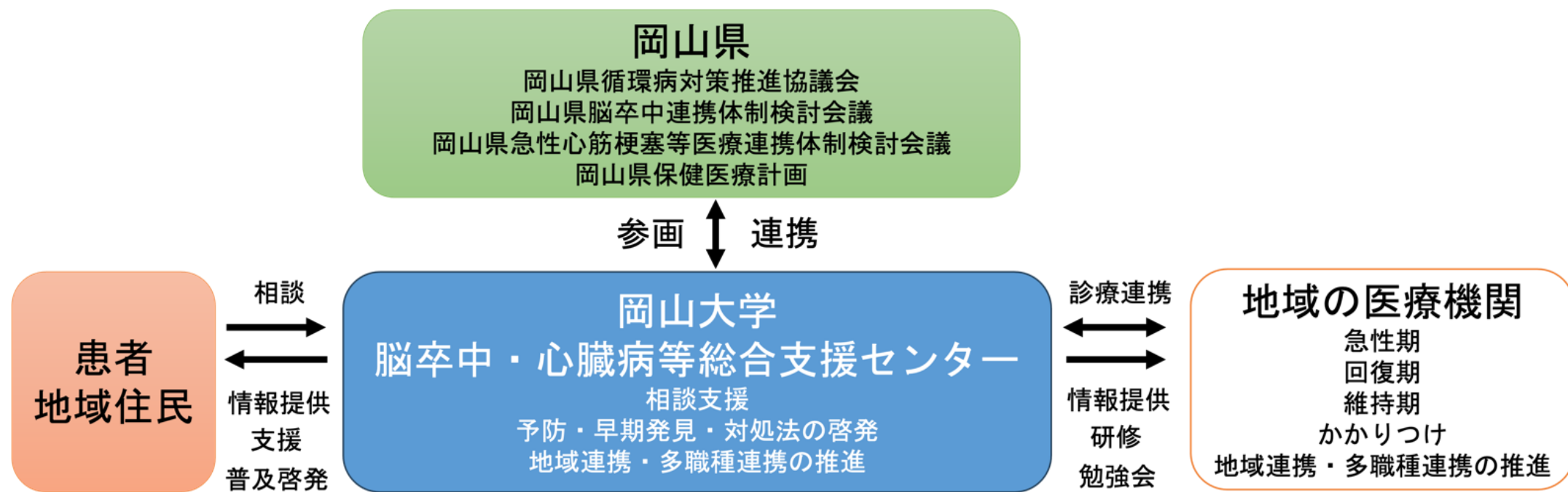
(件)

医療圏	急性期区分	医療機関名	急性期脳卒中入院患者数				治療実績										地域連携クリティカルパス作成件数（自院）
			脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	t-PA	脳内血腫除去術 （脳卒中によるもの）	クリッピング術	脳動脈瘤	脳動脈瘤及び脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	選択的脳血栓塞栓溶解術	経皮的脳血管形成術・経皮的脳血管ステント留置術	経皮的脳血栓回収術	頸動脈内膜剥離術	頸動脈ステント留置術	
県南東部	A	岡山市立市民病院	357	15	104	42	25	14	13	37		1	49	8	11		112
		岡山赤十字病院	184	7	66	19	29	6	1	1		2	4	1	3		83
		(独)国立病院機構岡山医療センター	114	14	31	4	3	5	5					4			64
		岡山旭東病院	391	21	97	22	12	16	6	18		1	20		15		203
		岡山済生会総合病院	86	4	13	1			2								34
		岡山大学病院	34	6		12	12	19	9	89	2	1	18		8		
		川崎医科大学総合医療センター	240	6	66	20	31	6	1	17		2	6	1	16	1	310
		岡山労災病院	153	4	51	8	17	10							1		69
		岡山東部脳神経外科病院	328		48	11	1	9	14	19		8	7	1	5		45
		岡山中央病院	70	2	18	3	9	2									5
	B	総合病院岡山協立病院	27	5	8	1											
	C	光生病院	44		25	7											
		北川病院	19	4	4	1											
		岡村一心堂病院	28	7	14												
		たまの病院															
		赤磐医師会病院	7		1	2											
		小 計	2,082	95	546	153	139	87	51	181	2	15	104	15	59	1	925
県南西部	A	倉敷中央病院	660	36	230	76	41	31	22	62		14	106	18	19	7	617
		川崎医科大学附属病院	224	19	82	28	30	23	16	29		5	40	8	10	12	171
		倉敷平成病院	229	17	43	7	3	6	4					4			
	B	総合病院水島協同病院	49	2	7	1											7
		玉島中央病院	76			9											
		水島中央病院	72	5	11		3							2			
	C	笠岡第一病院															
		倉敷記念病院	13														
		児島中央病院	37		24	5											
		小 計	1,360	79	397	126	77	60	42	91		19	146	32	29	19	795
高梁新見	C	高梁中央病院	54		9												
		小 計	54		9												
津山英田	A	津山中央病院	320	37	124	33	18	18	9	16		7	28	2	8	206	
		小 計	320	37	124	33	18	18	9	16		7	28	2	8	206	
真庭	A	金田病院	81		8	2	1										
	C	総合病院落合病院	36			1											
		小 計	117		8	3	1										
合計			3,933	211	1,084	315	235	165	102	288	2	41	278	49	96	20	1,926

[illegible]

岡山大学病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター について

岡山大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センター



- 岡山大学病院内に、2024年7月1日に開設

センター長 岡山大学病院長： 前田 嘉信

副センター長 循環器内科： 湯浅慎介
心臓血管外科： 笠原真悟
脳神経外科： 田中將太
脳神経内科： 石浦浩之

岡山大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センター ホームページの作成と公開



TOP

センター紹介

医療連携

患者様・ご家族の方へ

ご相談窓口

病気について

アクセス・お問い合わせ



<ホームページ内容>

- ・センター概要
- ・担当者の紹介
- ・病気について
- ・相談支援窓口の案内
 - 地域医療機関
 - リハビリテーション
 - 社会復帰支援
- ・市民公開講座等のお知らせ
 - 研修と啓発活動



相談窓口の体制

- 総合患者支援センターでMSW（医療ソーシャルワーカー）が窓口
- 窓口、電話、e-mailによる相談受付
- 社会保障制度・福祉サービス・就労・終末期医療についての情報提供等を行う（疾病については、各科や連携病院を紹介）

相談支援実績①

(1) 支援患者数（患者家族への支援であった場合も、患者本人への支援としてカウントする）

対象	人数
新規患者数	251人
延べ患者数※	251人

(2) 新規支援患者数のうち、総合支援センターのある病院への通院/入院の状況

状況	人数
1. 総合支援センターの病院への通院/入院歴あり（現在も通院・入院中含む）	226人
2. 総合支援センターの病院への通院/入院歴なし	25人
3. その他	0人

(3) 新規患者数のうち、支援する理由となった原疾患の内訳

原疾患	人数
1. 心疾患	212人
2. 脳卒中	7人
3. 両方（心疾患と脳卒中）	31人
4. その他	0人

相談支援実績②

（４）延べ人数のうち、手段別の支援患者数

手段	人数
1. 対面	205人
2. 電話	43人
3. 郵送	0人
4. F A X	0人
5. 電子メール	0人
6. W E B 面談	0人
7. その他	*

（その他の対応媒体についての詳細： 院内カンファレンス ）

（５）支援内容（１患者あたり複数選択可。該当する項目について延べ件数を記載する。）

相談内容	件数
1. 医療連携・地域連携パス	0件
2. リハビリテーション（外来含む）	0件
3. 心理サポート	*
4. 両立支援（仕事・就労・復職）	*
5. 両立支援（就学・復学支援）	*
6. 緩和ケア（アドバンス・ケア・プランニングを含む）	0件
7. 疾病情報の提供（予防・診断・治療等について）	10件
8. 医療・介護・障害福祉の連携に有用な社会システムの提供	127件
9. 経済的問題（または不安）への支援	*
10. 障害者手帳認定の支援	0件
11. 家族支援	0件
12. 患者会・家族会との連携（ピアサポート）	0件
13. 訪問診療・訪問看護または在宅療養	42件
14. 主治医やかかりつけ医への不満	0件
15. その他	65件

（その他の支援内容について詳細： 転院や施設入所に関する問題 ）

※5未満は非表示としています。